

編集後記

卒業式や退職など、毎年3月は別れの時期ですが、今年の3月には私がこれまで大変お世話になった方々がたくさん退職されました。臨床や基礎研究など、多くのことを教えていただいた方々の退任には一抹のさみしさを感じます。先輩方の到達した領域に達するには自分自身力不足であることは痛感しておりますが、教わったことを自分なりに咀嚼して後輩に伝えることが自らの役目である、と決意をあらたにしております。

これらの先輩方に共通しているのは、多くの後輩に慕われて周りに多くの素晴らしい人材が集まり、そして優れた後進を育ててこられたということです。20世紀の前半に北海道帝国大学の教授であった中谷宇吉郎博士は1936年に雪の結晶を世界で初めて人工的に作成することに成功されました。中谷博士が作った人工雪発生器は、ウサギの毛を結晶の核として用い、器具の中で水蒸気を対流させるというものでした。雪の結晶は自然が作り出す様々な造形物の中でとびきり美しいものです。雪の結晶の形成に「核」が必要だということは、偉大な先輩方という核の周りに作り出された結晶が見事に花開いた様子を示しているようです。

最近の大きな話題といえばやはり専攻医のシーリングの話でしょうか。厚生労働省は、働き方改革と医師の地域偏在の問題を一挙に解決すべく、2024年の医療ニーズと、現在の医師の勤務時間から、診療従事勤務医の時間外労働上限水準を守るために基本領域ごとに必要になると考えられる医師数を算定して、診療科ごとの上限専攻医数を各都道府県に割り当てました。事

実上診療科ごとに新たな専攻医育成数に上限を設けたこととなります(5月14日の医道審議会医師分科会医師専門研修部会で了承)。

5月に開催された日本整形外科学会学術総会の際にも厚生労働省の方を迎えて、今回の制度変更について説明の場が設けられましたが、提示された数字が明らかに現状と合致していない地域も多いことから多くの先生方から懸念が表されました。特にシーリング数の根拠となった医師数には、働き方改革の対象である病院勤務医に加えて、開業医や専業医なども入っているとのことであり、必要な医師数が過少に算出されている可能性があります。またシーリングのかかった診療科を志望していた研修医は、他の地域のプログラムに移るのではなく、他の診療科を選択する可能性も高く、働き方改革はおろか、地域偏在解消さえおぼつかないのではないかと、とも心配になります。しかしながらどうやら厚生労働省側はこの制度の変更を行うつもりはないらしく、これから専攻医になろうとする研修医だけではなく、現場で働く医師にも大きな不満を残すことになりそうです。

今月号の『整形・災害外科』で取り上げたテーマは呉医療センターの山崎琢磨先生にご企画いただいた「股関節とその周囲のスポーツ障害」です。この分野も画像診断や関節鏡の知見によって新たな病態が明らかになっています。皆様の知識のブラッシュアップの一助になれば幸いです。

(田中 栄)

「整形・災害外科」第62巻 第8号(7月号) 2019年7月1日発行(毎月1回1日発行) 定価(本体2,500円+税) 年間購読料金 定価(本体39,400円+税) [年間13冊(臨時増刊号、増大号を含む)の誌代] [年間予約購読者に限り送料無料]	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03(3811)7165〔編集室直通〕 TEL 03(3811)7184〔営業部直通〕 FAX 03(3813)0288 http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 日本医学広告社 TEL 03(5226)2791
--	---

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。